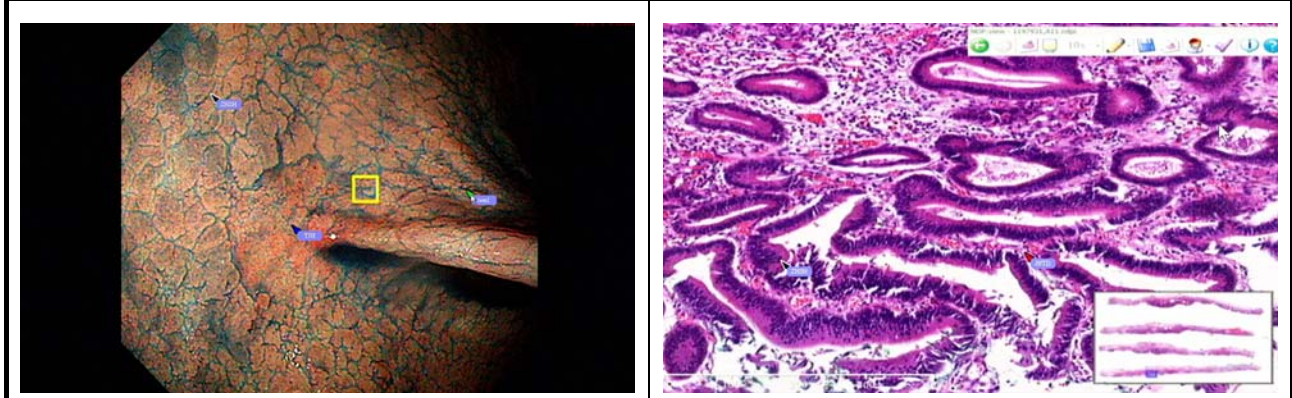


<p>【イベント名】 第20回 北京協和大学との早期胃がんカンファレンス</p>	<p>【概要】 本会議には日中合わせて6施設が接続し、今回初めて天津医科大学が参加した。早期胃癌について、その検出や診断に焦点を当てた7つの症例が報告され、それらについて議論が交わされた。インターネットを介した議論やトレーニングによって、中国における早期胃癌のスクリーニングや診断、治療法の標準的な手順が着実に向上していた。</p>
<p>【期日】 2016.05.18</p>	
<p>【会場】 九州大学病院（日本）、 北京協和医院（中国）、 復旦大学中山病院（中国）、 順天堂大学（日本）、 天津医科大学（中国）</p>	



<p>九州大学病院からコメントするDr. 八尾。</p>	<p>モニターに映し出される6地点の様子。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>



<p>提示された内視鏡画像。</p>	<p>テレポインターを用いた病理画像のディスカッション。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>



<p>天津医科大学での会場の様子。</p>	<p>復旦大学中山病院での会場の様子。</p>
<p>撮影場所：天津医科大学</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>